

4. 高病原性鳥インフルエンザ発生時における動員者の安全確保 並びに迅速な防疫対応への取り組み

宇佐家畜保健衛生所

○加藤洋平・本多祥宏・(病鑑) 尾形長彦 (病鑑) 泉修平・吉田秀幸

【はじめに】

平成 22 年度の高病原性鳥インフルエンザ (HPAI) の発生を受け、原則として病性判定後 24 時間以内に殺処分完了、72 時間以内に焼却又は埋却完了が特定家畜伝染病防疫指針 (指針) に明記された。そのため、発生農場で作業に当たる動員者は、現地情報も無いまま深夜における防疫作業を余儀なくされた。今回、発生農場動員者への安全確保を目的とした情報提供のための農場詳細情報調査、また、HPAI 発生時の迅速な防疫対応を行うために、埋却予定地のランク分け評価を実施したのでその概要を報告する。

【取り組み状況】

1 農場詳細情報調査

- (1) 農場配置図：航空写真及び現地調査並びに農場主からの聞き取りにより、実際の鶏舎配置に合わせ図面化を行い、鶏舎寸法等も記載。
- (2) 鶏舎構造：鶏舎毎に鶏舎全景及び内部を撮影、採卵鶏農場においてはケージの種類や通路幅等を含め図面化。
- (3) 危険地帯：農場敷地内の危険地帯 (崖、水路等) を撮影し記録。
- (4) 防疫演習での活用：(1) から (3) までの情報について、本年度県特定家畜伝染病防疫演習時に農場内で殺処分等を実施する動員者への作業説明に活用。

2 埋却予定地ランク分け

- (1) ランク分け区分：昨年度実施した埋却地調査結果を踏まえ、農場毎に埋却予定地を総合的に評価し、◎ (埋却に問題なし) ・ ○ (埋却可能) ・ △ (埋却困難) ・ × (埋却不可能) の 4 段階にランク分けを実施。
- (2) ランク分け結果：管内 94 農場の内、◎ 46 農場 (49 %)、○ 15 農場 (16 %)、△ 16 農場 (17 %)、× 17 農場 (18 %)

【まとめ】

発生農場で作業に当たる大部分の動員者は、現地情報も無いまま慣れない防疫作業に従事することとなる。実際、平成 23 年 2 月の本県発生時における防疫作業中にけが人がでている。今回、農場詳細情報を作成することにより、本情報を動員者が集合する集会場で情報提供することで、動員者の安全確保の一助になればと考える。

また、埋却予定地ランク分けでは、埋却可能判定以上 (◎○) 農家が 65 % を占めた。現在、×判定の農場には、新しく使用可能な埋却予定地を確保するよう指導するとともに、本病発生時の公有地の使用や運搬経路について検討を行っている。

農場詳細情報及び埋却予定地ランク分けを農場毎に整理することで、動員者への情報提供だけでなく、より迅速な初動防疫計画書の作成並びに防疫対応につながると考える。